

## 富山市立杉原中学校



## 新しい時代の希望となって

本校は、昭和22年に杉原村・宮川村組合立杉原中学校として創立されました。昭和31年八尾町立杉原中学校、平成17年富山市立杉原中学校と変遷を重ねながら、地域に大切に見守られてきましたが、3月75年間の歴史に幕を下ろすことになりました。

神通川、井田川、そして、八尾の山々から流れ出る幾筋もの河川による豊かな水に育まれた広大な水田地帯の風景は、生徒をのびのび、力強く育む源泉となってきました。校歌に「希望の象徴 杉の木の雪や嵐を耐えしのぐ 直く強い心もて 学徒よのびよといつまでも」と歌い継がれてきた思いや伝統を携えながら、令和4年4月、富山市立八尾中学校として、新たな歴史と文化を築くこととなります。

杉原中学校最後の生徒会スローガン「NEXT～完走、そして新たな一歩～」を胸に、新しい仲間と、新しい学校、新しい時代を拓いていくことを期待しています。

## 富山市立上条小学校



## 地域とともにある学校

本校は、明治6年9月に良智小学校として開校しました。その後、市町村合併に伴う校名の変更、校舎の移転、増改築等の幾多の変遷を経て、令和4年3月をもって、148年の歴史に幕を下ろします。

開校以来、本校は地域に密着した特色ある教育活動を推進してきました。中でも、戦争中の学童疎開が縁で、平成9年に東京都品川区立大間窪小学校（現在の品川区立小中一貫校豊葉の杜学園）と姉妹校を締結し、互いの学校を訪問し交流を続けてきました。地域や保護者のご支援、ご協力により、子供たちは、共に疎開していたお寺を見学したり、畑で収穫体験をしたりしてきました。姉妹校との絆、人と人とのつながりを大切にしていこうとする地域の思いは、子供たちに受け継がれています。

令和4年4月、本校は富山市立三郷小学校と統合し、富山市立三成小学校として開校します。今後も、地域とともにある学校文化を継承し、新たな歴史と伝統を築いていきます。

## 高岡市立平米小学校



## おおとりのように

本校は、明治45年4月、高岡市内6番目の尋常小学校「高岡市立平米町尋常小学校」として、児童数832人で開校しました。その後、「平米国民学校」「平米小学校」と改称し現在に至ります。校区は、高岡の中心に位置し、高岡古城公園の西側一帯を占めています。毎年5月1日は、歴史的価値の高い建造物のある町並みの中で御車山祭が催されます。

本校では、6年女子の創作舞踊「おとりの舞」、5年生の「獅子舞」に取り組むことが伝統で、代々、先輩が後輩に継承する形で続いています。年に数回、学校行事や地域行事で披露しており、保護者や地域の皆様も楽しみておられます。

校章のモチーフの「おとり」は、中国の想像上の動物で、5色に輝く優雅な翼で大空を自由に飛び回る鳥です。令和4年4月に定塚小学校と統合し「高陵小学校」となった後も、おとりのように、聡明でやさしい目をもち、徳を積む子供たちであり続けてほしいと願っています。